

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 植物工場や周年農業が展開され産業が活性化した農工連携の新たなモデル地域ができることと、地域の先導的な役割を果たすとともに、製造業及び農業の活性化に資すること。

指標	指標名	アクションプランの策定							指標の種類
	指標式	アクションプランの策定							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a			1					
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国			アクションプラン報告書					

把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a								
	実績b			データ等の出典					
	東北 全国								

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

 見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 本県がこれまで蓄積してきたものづくり技術や知見の応用、円高等により深刻な影響を受けていた県内製造業に対する新たな成長分野の提示、空き工場等の遊休施設の活用といった今後の産業支援のあり方の提案等、県内企業が直面する課題の解決のために事業の実施は必要である。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 県内製造業の新たな成長分野への参入促進という観点からニーズに合致するほか、空き工場等の遊休施設の活用や、植物工場や農工連携といった取組を通じて新たなビジネスモデルを確立し、広く県民に効果を及ぼすことが期待される。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

これまで、植物工場や周年農業など県が支援してきたが、県立大学や県内公設試の知見を活用し、空き工場の活用といった今後の産業支援のモデルを提示する上で重要な取組であることから、県が積極的に関与するべきものである。

政策評価委員会意見	
重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定	

重点事業 その他